

ほんの
いばし
10

図書館の本は0から9の数字
を使って分類されているよ。詳
しくは「シカクニト!」第1回
(ごちゃっと4号)を見てね。

今回は **2** : **歴史**
(歴史・伝記・地理)
「歴史」たとえばこんなほん

歴史のなかま：歴史(200)、日本史
(210)、アジア史・東洋史(220)、
ヨーロッパ史・西洋史(230)、アフリカ史
(240)、北アメリカ史(250)、南アメリカ史
(260)、北極・南極地方史(270)、
伝記(280)、地理・地誌・紀行(290)

『世界はいっしょにまわってる ヨコ軸でつなぐ日本史と世界史』(2101)

池上彰/監修 稲田雅子/文 クー/絵 小学館

「日本史」と「世界史」って別々の授業だから別々に考えちゃうんだけど、世界はひとつ。だから並行してものごとはおこってる。イスラム教がひらかれたころ、日本では聖徳太子が法隆寺を建立していた。平賀源内がエレキテルを復元してたとき、アメリカでは独立宣言。そんな「横のつながり」を意識できる、歴史の本。



「伝記」たとえばこんなほん

『剣の乙女』(280) 稲葉義明とF.E.A.R./著 新紀元社

マンガやゲームに登場する、戦うヒロインたち。それらのモデルになることの多い、実在した「戦う乙女」たちの生きざまを紹介。この「Truth In Fantasy」は歴史・神話などたくさんシリーズが出ています。

「地理」たとえばこんなほん

『旅に出よう 世界にはいろんな生き方があふれてる』(2909) 近藤雄生/著 岩波書店

大学卒業前のインドへの旅、それが著者の生き方やものの見方を変えた。その後5年間の旅生活を送った著者が、旅先で出会った、特に印象に残った生き方をしている人たちを紹介。「国を造ったおじいさん」の話がすごいな—と思った!

次回は「3:社会科学」を紹介するよ!

ヘンシュウコウキ 図「くら博物館」に行ってきました。イルカ・シャチ・クジラのショーが楽しかった!

(忍) 図眠い眠い毎日です。社会人としてはこれが限界、ってくらい睡眠時間にあててるんだけどな。(弓)

図…ふふ。この夜がいつまでも暑さに弱いなんて思わないことね?(夜)←既に暑さにやられている気がします

図琵琶湖の沖島という島に行きました。日本の淡水湖の島で人が住んでいるのはここだけ!(七) 図実は動画制作とウクレレ演奏にもチャレンジしてみた。ボツにしたけど楽しかったです(生) 図最近、遊

び人宣言をして、休みの日は映画見に行くことにしました。家族の目がちょっと冷たいけど…(夏)

ごちゃっと

ティーンズ広報紙 第10号

2010年7月1日発行

発行：名古屋市鶴舞中央図書館

Tel 052-741-9811

Fax 052-733-6337

http://www.library.city.nagoya.jp/

～読書でふくらむ子どもの夢～



☆特集☆

■世界はこういうふうになっている!

■チャレンジ! コスプレ編&バグルバス編

♪この印刷物は古紙パルプをふくむ再生紙を使用しています。♪

世界は こういうふうになっている！



『ぼくがラーメンを食べるとき』

長谷川義史/作・絵 教育画劇

ぼくらは世界の中で生きている。たとえば、ぼくらがラーメンを食べているとき、となりのとなりのとなりの国では、どんなことが起きているのだろうか？
距離をとってしまったら、いま目の前で起きていること。ときには、世界とのつながりを考えてみよう。

ということで、いろんな本を紹介するよっ！

ラーメンをひとすすりするときに…

『1秒の世界』

山本良一/責任編集 Think the Earthプロジェクト/編集ダイヤモンド社
ラーメンを食べるこの1秒。時計の針が動くこの1秒で、世界を切り取ってみる。1秒間に、ニワトリが33000個のタマゴを産み、16000缶の炭酸飲料が飲まれ、320万円の軍事費が使われている。不思議な気持ちになるよ。



いまもどこかで戦争が…

『世界中の息子たちへ』

堤江実/詩 高橋邦典/写真 ポプラ社

そう、いまこの瞬間も、戦争は行われている。報道カメラマンの写真と、「あなたが殺されるのを見たくはない」「あなたが殺すのを見たくない」という想いがこめられた詩とのコラボレーション。戦争を無くすのは、難しいけど、想像して考えてみよう。

世界を知るには図書館へ

世界は広くて、実際に行けるわけでもない。でも、図書館には、いろんな本がある。世界のいろんなこと、世界中のいろんな人のことを、知ることができる。本との出会いは、遠いところの人との出会いでもあるんだよ。
あ、それから、夏休みと言えば、宿題だね。どうやって調べたらいいかわからないときは、図書館の人に、気軽に聞いてみてね～！！

いろんなところに住んでいる…

『可笑しな家』

黒崎敏/編著 ビーチテラス/編著二見書房
人は昔から家をつくって暮らしてきた。この本は、世界中のへんな家を紹介する本。水に浮いたり、木の上だったり、土で固められたり…。見ていてだけで、たのしい！君はどんな家で暮らしたい？



『ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。』



国境なき子どもたち/編著 合同出版

でも、世界には、家で暮らせない人もいる。ストリート・チルドレンと呼ばれる、路上で暮らしている子どもがいる。とても重い内容で、読むのがつらくなるけれど、これが現実だ。

『ちかい家族とおい家族』

今西乃子/著 ポプラ社

遠い世界ではなくて、ぼくらの身近なところでも、家の無い人がいる。日雇い労働者の町で、家族と別れ、テントや公園などで暮らす人々をたずねる。



いろんなものを食べている…

『食べもの記』森枝卓士/著 福音館書店

食の文化には、「違い」はあっても、「上下」はない。世界中の「食」を、多くの写真で紹介する。こんなにもいろんな食べもの・食べ方があるのかーと驚くよ。おなかがすいてくるかな？



『コンビニ弁当16万キロの旅』

千葉保/監修 コンビニ弁当探偵団/女 高橋由為子/絵 太郎次郎エディタス

ある調査によると高校生の半数以上の方が、週に1回以上コンビニで買い物をしているそうだ。そのコンビニのお弁当。「幕の内弁当」の食材は、ブラジル、タイ、中国、トルコなど世界各地からやってきている。世界とつながっているのだ！便利だけど、輸送のために多くの二酸化炭素を発生させていること、弁当を作っている人の低賃金など、問題もあるのだ。



現役レイヤーさんに教わって、コスプレに挑戦してみたよ!

STEP1. 心得を学ぶ

「コスプレは究極の愛情表現」
「節度を持ち、迷惑をかけない」
ハイッ、肝に銘じます!



ちなみに先生は、如月湊(キサラギカイリ)さん。
名古屋を拠点に活動中の、現役レイヤーさんです!

今回は、「デュララ!!」のしずちゃんこと、平和島静雄でキメ! さすが、雰囲気ですぜ!

やっぱり暴力は好きじゃねえ

STEP2. ショップへGO! ~キャラ決め、衣装調達

初心者なので市販品で(先生は自作派)の先生といっしょにショップに行き、衣装の在庫を物色した結果、「KAITO」をやることに決定! *本来はキャラ愛ありき、今回はちと邪道です。

STEP3. 本番までの準備

- ・カイトの動画や曲を視聴しまくる
- ・衣装を試着してポーズの研究
- ・つけまつ毛や化粧品を調達
- ・ウィッグの前髪をすく
- ・ネットでいろんなカイトのコスプレ写真をチェック → でもみんなすげすぎて、くいけそうになる…。

☆KAITO(カイト)とは

クリプトン社製のボーカル・ソフトウェア、またはそのキャラクター。男声ボーカル。髪色は青。



僕がカイトだ!

STEP4. いよいよ本番!

休日の鶴舞中央図書館にて決行! お着替えがけっこう大変でした~。慣れない化粧やウィッグに大苦戦! でも、苦闘の末、ついに… →

先生のクオリティには到底およばないけど(あたりまえ)、初めてなりにがんばりました! この写真は先生に撮ってもらったもの。角度がいい! 先生のこだわりを感じました。

再生の日~バブルバスがくれたもの~

どうせ自分にはにあわないと、長い間あきらめていた。「企画だから」。言い訳がたつ今なら、試すことができる。注ぎ込むお湯の下に、一たらし、二たらし。

一雲が生まれる場所。一言で言うなら、そんな感じ。せっけんの泡なんて、くらべものにならない。はじけるようにいた



生まれ変わるバスタブ

ずらっぽく、そのくせほんの少しだけそっけなく。手のひらからふわりと舞わせれば、もう昨日までの私じゃない。そう、生まれ変わったんだ。私はあきらめない私へ、バスタブは猫足つきへ。



生まれ変わる私

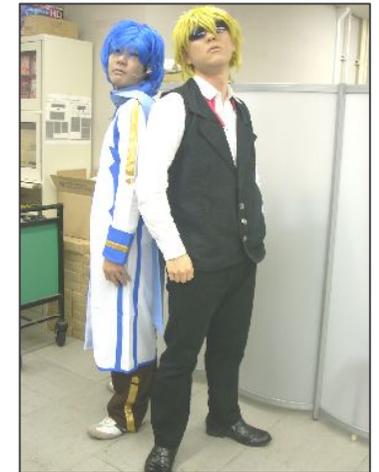
音楽の専門書を読むカイト



しずちゃんのために歌う



先生と2ショット! 先生のなりきり度の高さに驚き!



まとめ:(生)の感想

はじめは恥ずかしかったけど、だんだんその気になってきて、すっかり快感に! 新しいことにチャレンジするって楽しいね。

まとめ:先生の講評

クオリティはともかく、楽しんだならOK! 最初の一歩を踏み出せば、新しい世界が待ってる。みんなも一度やってみて!

♪お知らせ

名古屋市図書館のHPに、カラーの秘蔵(?)写真もあります! ぜひ見てね!

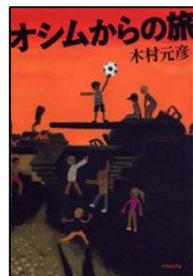
新刊紹介 *New Arrivals*



『金曜のバカ』

越谷オサム / 著 角川書店

ちょっとまわりが見えてないというか、つまり一直線なんです。気持ちにまっすぐなんです。ただちょっと一方通行かもしれない。ひとごとだと笑っちゃうけど、案外自分もそうかも。でもそう悪くないと思うんですそういうの。(弓)



『オシムからの旅』

木村元彦 / 著, 100%ORANGE / 装画・挿画 理論社

民族の対立でずたずたに引き裂かれてしまった旧ユーゴスラビア。ユーゴ代表チームを率いる監督オシムと代表選手ストイコビッチは、文字通り命がけでワールドカップに臨んだ。二人の半生を知ることを出発点として、民族の対立がどのようにして起こったのか、どうしたら克服できるのかを深く考える。(夏)



『リリース』

草野たき / 著 ポプラ社

中学2年生の明良。「医者になれ」という周りの期待に応えるため、バスケのプロ選手を目指したいという本心を隠している。祖母、母、兄が、それぞれに我慢していた本心を明らかにしたとき、明良は解放(リリース)された。自由になった先に見えるものは?! (七)



『時間と学費をムダにしない大学選び 2011』

石渡嶺司・山内太地 / 著 光文社

おもな志望業界ごとに、おすすめ進学プランを徹底研究! 各大学の学科案内、国家試験などの合格率、OBの話など、情報てんこ盛りの1000ページ。将来の夢をかなえるための、つよ〜い味方になりそう。(生)



『緑金書房午睡譚』

篠田真由美 / 著 講談社



父が研究のためイギリスに行く間、比奈子は月島の古書店に預けられることになった。ところが、どうも店主には歓迎されていないようだ。その理由はこの店の秘密にあるらしいのだが…。(夜)



『ぶたにく』

大西暢夫 / 著 幻冬舎エデュケーション

野菜や魚はどういう経路を経て食卓にのぼるのかなんとなく知ってる。じゃあ肉は? 私たちの大好きなお肉はこうやってできます。命をいただくというのはこういうこと。(弓)



『なぜ人は宗教にハマるのか』

島田裕巳 / 著 河出書房新社

君は「宗教」というものに、どんなイメージを持ってる? そもそも「宗教」って何だろう? 普段、意識していないだけで正月の初詣や法要など、意外と「宗教」は身近なところにあるもの。その世界を客観的に判断するために、まずは知ることから始めてみよう。(忍)

